

の部は、男子6位、女子3位までを表彰する。

2 種目別は男女とも1位を表彰する

【申込方法】

- 1 参加者は所定の申込用紙(西教様式 4)に必要事項を記入のうえ、参加料を添え所属連盟宛申込む。
- 2 参加者が18歳未満の場合は、必ず保護者の承諾を得て、申込書の保護者承諾欄に記名捺印をすること。
各県スキー連盟は、保護者承諾を必ず確認し、推薦を行うこと。
- 3 各県スキー連盟は、申込用紙を取りまとめ、期日までに西教様式 4 を郵送、データベース(西教様式 10)を電子データにて下記申込先宛提出する。データベースの調査表、監督コーチシートは全て記載をお願いします。

【申込・問合せ先】

〒869-1102 熊本県菊池郡菊陽町原水1327-11-703
熊本県スキー連盟 教育部 敷地 慎一 宛 090-9604-7618 chiki2y@yahoo.co.jp

【開催可否の決定】

積雪状況や特定感染症の感染拡大状況などによる開催可否の判断は、1月29日(日)正午に行い、翌30日(月)の午前中を目途に各加盟団体の申込み責任者宛てにメール連絡するものとする。ただし、以降のやむ負えない状況の変化により、急遽、開催を中止することもある。

【申込締切】

2023年1月10日(火) 必着

【参加料】

レギュラーの部、シニアの部 4,000円
ジュニアの部 2,000円

【振込先】

肥後銀行 大津支店 普通口座 2137416
口座名義 熊本県スキー連盟教育部 敷地 慎一

【その他】

- 1 積雪等の状況により、競技種目を変更することもある。
- 2 SAJ公式用品を使用のこと。
- 3 万一、競技中に事故が発生した場合においても、応急処置は行うが総て本人の責任により処理する。
- 4 第60回全日本スキー技術選手権大会への出場者は、本大会のレギュラーの部に出場した者をもって構成する。
- 5 第60回全日本スキー技術選手権大会へのブロック余剰枠出場者は、本大会のレギュラーの部に出場した者をもって決定する。大会中止の場合は、第59回全日本スキー技術選手権大会の成績により決定する。
- 6 大会が中止の際は、理由の如何に問わず参加料の返金は行わない。
- 7 参加者は少しでも体調が悪い場合は参加を見合わせること。
- 8 主催者が当該参加者を体調不良と判断した場合は途中退席を指示する可能性がある。
- 9 参加者は別添の「西日本ブロック_遵守事項同意書」および「健康チェックシート」に必要事項を記入のうえ、受付時に提出すること。
- 10 別紙：「事業開催中の画像や映像などの取扱いについて」を参照のこと。

競技規則

西日本スキー技術選手権大会 競技規則

- 1 競技者は種目別スタート地点に集合し、スタート審判のコールを受け応答しなければならない。大会運営上、20人～30人集合しだい随時コールを開始する。
- 2 競技者は前者の出発後、直ちにスタート地点に立ち出発のための準備をしなければならない。
- 3 競技者はスタート審判の合図により出発しなければならない。スタート合図はフラッグで行い、視界の悪いときはトランシーバーを利用する。
直ちに出发しない場合は該当種目を棄権とする。
- 4 競技コースの終点には停止ゾーンを設ける。ゾーンは4本のポールにより設定し、その区切りは色インク等により明示する。
- 5 競技は示された停止ゾーン内で安全のために停止するものとする。ゴールは、両足スキーで終了する。
- 6 競技中止について。大転倒等で中止するときは、ストック等の×印で連絡する。
- 7 ヘルメットは安全上必ず着用する。ウェアは、ワンピースは禁止する。その他、公式用具を使用する事。
- 8 競技種目が必要とする斜面については、その条件を満たせる設定を行う。
- 9 競技各種目は、設定された条件や状況に適合した回転弧、スピードで行う。
- 10 審判は5審3採用によって行う。
- 11 競技斜面のインスペクション・整備については競技本部の指示に従い行う。
選手・監督・コーチのみとする。ビブ・証明書を着用の事。
- 12 抗議は、監督・コーチ・当該選手本人としゴール後ただちに審判長に申し出ること。
監督1名・コーチ3名以内とし、受付時に届け出をして監督・コーチ証を受け取り、大会期間中着用する。
- 13 競技会場の積雪状況により競技コート・種目変更の可能性も有り得る。